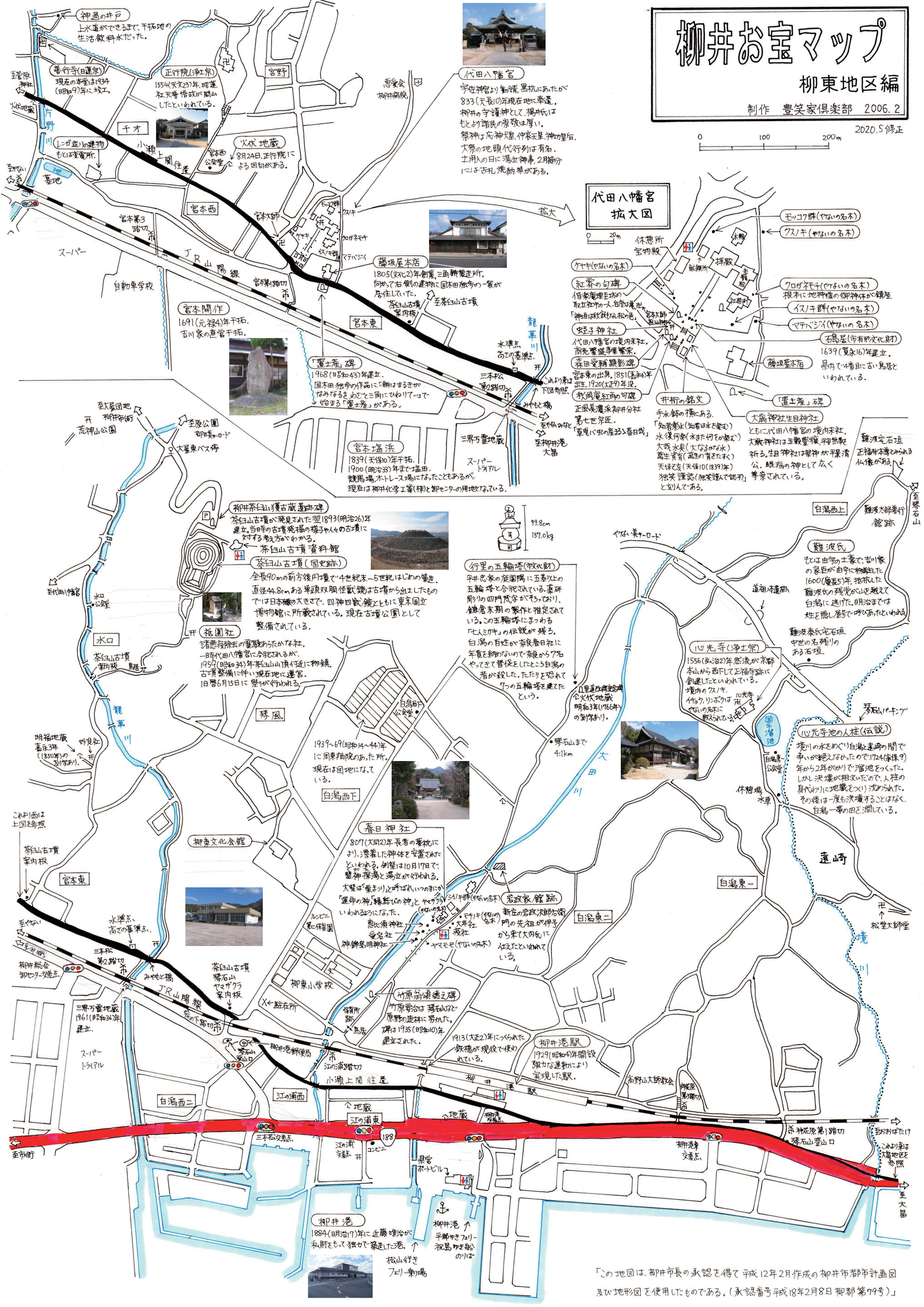
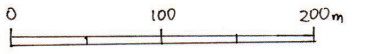


柳井お宝マップ

柳東地区編

制作 豊笑家倶楽部 2006.2

2020.5修正



代田八幡宮
宇佐神宮の勧請、黒旗にあたりが833(天長10)年現在地に奉遷、柳井の守護神として、楊井氏ほかの諸氏の崇敬は厚い。祭神は応神天皇、仲哀天皇、神功皇后。大祭の地頭代行列は有名。土用入の日に湯立神事、2月節分には古札焼納祭がある。

代田八幡宮 拡大図



代田八幡宮 拡大図
0 20m 休憩所 宝物殿

ケヤキ(やまの松)
紅雲の句碑
信楽瓦葺の取立の中へ入道(寛永)に「神鳥は秋の松の松の色」

女子神社
代田八幡宮の境内末社。商売繁盛事業繁栄。森田愛輔顕彰碑
宮東の出身。1851(嘉永3)年誕生。1920(大正9)年没。

秋風庵紅雲の句碑
正風長澤派柳井分社 第七世宗匠。
「草庵は心の産土(春日哉)」

井桁の銘文
手水鉢の横にある。
「知者集水(知者水と書す) 水復何来(水また何の来す) 大哉水矣(大なる水) 萬生資育(萬生の育をたす) 天保乙亥(天保10(1839)年) 独笑謹誌(独笑謹んで誌す) 」と刻んである。

大蔵神社生目神社
ともに代田八幡宮の境内末社。大蔵神社は五穀豊穰、平安無難祈る。生目神社は薬神が平泉清公。眼病の神として広く尊崇されている。

モッコク群(やまの松)
クスノキ(やまの松)

クロガネモチ(やまの松)
根本に地神様の御神体が鎮座

イヌノキ群(やまの松)
マテバシイ(やまの松)

石鳥居(市有文化財)
1639(寛永16)年建立。県内で4番目に古い鳥居といわれている。

「置土産」碑

難波定石垣
正福寺本尊とみられる仏像がある。

至原公園
柳井市街

至原公園
柳井市街

至原公園
柳井市街

至原公園
柳井市街

至原公園
柳井市街

至原公園
柳井市街

至原公園
柳井市街

至原公園
柳井市街

至原公園
柳井市街

至原公園
柳井市街

至原公園
柳井市街

至原公園
柳井市街

至原公園
柳井市街

至原公園
柳井市街

至原公園
柳井市街

至原公園
柳井市街

至原公園
柳井市街

至原公園
柳井市街

至原公園
柳井市街

至原公園
柳井市街

至原公園
柳井市街



99.8cm
137.0kg

行程の五輪塔(市文化財)

平井忠家の屋敷隅に五基以上の五輪塔と合祀されている。薬師彫りの四門梵字が特徴的。鎌倉末期の製作と推定されている。この五輪塔にまつわる「七人の侍」の伝説が残る。白濁の百姓が奈良春日社に年貢と納めたいので奈良から7名やてきて管理してとこの白濁の者が殺した。たたりを恐れて7つの五輪塔を建てたという。

山道修験道碑
火伏地蔵
明和3年(1766)年の刻あり。

琴石山まで
7.1km

大田川

白濁西下

春日神社

807(大同2)年長者の夢枕におよび崇奉した神体と安置されたといわれる。例祭は10月17日。翌神祭と湯立が行われる。大祭は粟まじりと呼ばれる。この「運命の神」縁結びの神とヤマトイハヒの神にまつわる。いわれている。た。恵徳神社、愛宕社、神鈴島神社

若政家館跡
新設の若政邸跡
門の先祖が伊予から来て大内氏に仕えたとされている。

竹原翁徳之碑
竹原翁徳は琴石山と原野の造林に努めた。碑は1935(昭和10)年建立された。

1913(大正2)年に作られた鉄橋が現役で使われている。

柳井港駅
1929(昭和4)年開設(強力運動会により実現した駅)。

柳井港
1884(明治17)年に近藤唯治が私財をもとめて築いた港。↑松山行きフェリー乗り場

柳井港
↑平野ゆき子、祝島ゆき子のゆかり

柳井港
↑平野ゆき子、祝島ゆき子のゆかり

柳井港
↑平野ゆき子、祝島ゆき子のゆかり

柳井港
↑平野ゆき子、祝島ゆき子のゆかり

柳井港
↑平野ゆき子、祝島ゆき子のゆかり

この地図は、柳井市長の承認を得て平成12年2月作成の柳井市都市計画図及び地形図を使用したものである。(承認番号平成18年2月8日柳都第79号)